

農林水産省大臣官房長賞

『ぼくとお父さんとカレー』

兵庫県加古川市立野口北小学校 五年二組 男子 上田 諒翔

ぼくは、学校で毎日食べる給食が大好きです。いつも食缶が空になってしまうまで、何回もおかわりをします。好きな給食のメニューは、からあげ、焼きそば、スパゲティ、バターパンなど、たくさんあります。その中でも一番好きなのが、カレーです。

学校のカレーは、玉ねぎ、にんじん、じゃがいも、肉などが入っていて、とてもおいしいです。あまいけど少しからい味がして、最高です。

また、いろんなカレー料理があつて、楽しく食べることができます。カレーうどん、ポークカレー、夏野菜カレー、ぼうさいカレーなど、全部おいしいです。ぼくはその中でも夏野菜カレーがお気に入りです。かぼちゃやなす、ピーマンなど、普通のカレーに入っていないものが入っていて、おいしいし、栄養満点だからです。

でも実は、ぼくは小学校に入るまで、大好きなカレーを食べたことがありませんでした。お父さんがカレーぎらいで、お母さんが家でカレーを作らなかつたからです。また、レストランに行ったときも、メニューからカレーを選ぶことはありませんでした。それは、お父さんがきらいなものだから、おいしいはずがなと思うていたからです。

今考えると、大好きなカレーを小学校に入るまで食べなかつたことに後かいています。そして、カレーのおいしさを教えてくれた給食に感しゃしています。この経験から、「食べる前からおいしくないか決めつけるのはよくない」と思いました。

ぼくは、カレーについてもっと知りたいと思い、ネットで調べてみました。カレーはインドからイギリスに伝わり、明治時代に日本に伝わってきました。そのときに伝わった当時の料理の本によると、カレーの具材には、カエルや長ネギなど、今とずいぶんちがうものが使われていました。カエルを食べるなんて、気持ち悪いなと思いました。

では、どのように今のカレーができたのだろうか。カレーが伝わってから、日本で玉ねぎやにんじん、じゃがいもがたくさん作られるようになりました。また、日本製のカレー粉も作られました。そして、大正時代になって、今のカレーとなりました。

大好きなカレーについて調べてみて、日本のカレーはインド生まれでイギリス育ちであることが分かりました。また、今私たちの食べているカレーは、インドのカレーとも、イギリスのカレーともちがう料理だと分かりました。

ぼくは、大きくなったら、インドとイギリスに行って、日本のカレーとのちがいを比べてみたいです。そして、それらの味を生かして、お父さんが大好きになるような極上のカレーを作れるようになりたいです。